

I 展示活動

1 企画展

「歌麿とその時代 —黄金期の浮世絵—

- 会期 平成27年4月8日（水）～5月31日（日）
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
企画協力：E. M. I. ネットワーク
特別協力：一般財団法人 日本きもの文化美術館
後援：茨城新聞社，朝日新聞水戸総局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，北茨城市

- ポスター B2
- チラシ A4
- リーフレット A4 三つ折り
- 開催日数 47 日間
- 入場者数 16,042 人
- 観覧料 一般 620(510)円／高大生 410(310)円
小中生 210(150)円
※()内は 20 名以上の団体料金
- 出品点数 135 点 (錦絵 115 点 肉筆画 20 点)
その他 着物，かんざし等 57 点

●内容解説

上半身をクローズアップして描く「美人大首絵」を確立した喜多川歌麿は、女性の仕草や表情を繊細に描写するだけでなく、におい立つような色香や内面までも見事に表現して美人画の第一人者と謳われた。また、同時期に美人画と並んで人気を博した役者絵では、写実的な似顔絵を得意とした勝川春章や、役者の一瞬の表情を大胆に表現した東洲斎写楽らが活躍し、浮世絵は江戸時代の寛政期から文政期（18世紀末から19世紀前期）に江戸町人文化の賑わいととも最盛期をむかえた。

本展は、浮世絵や竹久夢二などを中心とする美術品収集家であり、浮世絵研究家としても知られる中右瑛氏のコレクションより喜多川歌麿や鳥文齋栄之、勝川春章、東洲斎写楽など、浮世絵の黄金期に活躍した個性豊かな絵師たちが描いた美人画と役者絵等、肉筆画を含む 135 点を展示し、江戸町人文化の賑わいととも花開いた黄金期の浮世絵の魅力を紹介したものである。

また、日本きもの文化美術館の協力により、浮世絵にも登場する花魁(おいらん)道中着やかんざし等も特別展示した。

●担当 横山智絵(主任学芸主事)

●関連事業

講演会「歌麿とその時代 浮世絵は謎がいっぱい」

講師 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)

日時 5月10日(日)

午後1時30分～午後3時

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 4月25日(土)・5月17日(日)

各日共 午後1時30分～2時30分

浮世絵摺り体験コーナー

日時 展覧会開催期間中の土・日・祝日

各日午前10時～午後4時

●関連記事

- ・歌麿とその時代 茨城県天心記念五浦美術館
3月30日【両毛新聞】
- ・浮世絵展 歌麿ら 135 作品 北茨城 美人画、役者絵を特集
4月7日【読売新聞】
- ・歌麿中心に 135 点 美人画と役者絵紹介 県天心記念五浦美術館 花魁衣装やかんざしも 北茨城で企画展開幕
4月9日【毎日新聞】



リーフレット A4 三つ折り



ポスター B2



チラシ A4

・企画展「歌麿とその時代-黄金期の浮世絵」

5月1日【とちぎ朝日】

・黄金期の浮世絵 135点 県五浦美術館

5月18日【茨城新聞】

●関連放送

・「いわきおもしろミュージアム」 4月24日【FMいわき】

・「いばっチャオ！」 4月30日【NHK 水戸】

● 出品作品一覧

No.	絵師	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	判型	画面寸法
第1章 歌麿とその弟子たち						
1	喜多川 歌麿	青楼三美人	寛政4-5年頃	1792-1793頃	錦絵大判	37.8×24.6
2	喜多川 歌麿	青楼十二時 亥ノ刻	寛政5-7年頃	1793-1795頃	錦絵大判	37.4×24.9
3	喜多川 歌麿	青楼十二時 寅ノ刻	寛政5-7年頃	1793-1795頃	錦絵大判	38.1×25.0
4	喜多川 歌麿	雪中劉備、孔明を訪れる関羽、張飛	天明後期-寛政前期	1789頃	錦絵間判二枚続	32.0×45.5
5	喜多川 歌麿	高名美人見立 忠臣蔵 初段	寛政6年	1794	錦絵大判	38.0×26.5
6	喜多川 歌麿	高名美人見立 忠臣蔵 十一段目	寛政6年	1794	錦絵大判	37.9×26.0
7	喜多川 歌麿	娘日時計 巳ノ刻	寛政6-8年頃	1794-1796頃	錦絵大判	38.7×25.7
8	喜多川 歌麿	両国橋 橋上の女たち	寛政7-8年頃	1795-1796頃	錦絵大判三枚続	37.8×75.0
9	喜多川 歌麿	両国橋 船あそびの女たち	寛政7-8年頃	1795-1796頃	錦絵大判三枚続	36.5×76.0
10	喜多川 歌麿	名所腰掛八景 ギヤマン	寛政中期	1795頃	錦絵大判	37.6×24.5
11	喜多川 歌麿	婦人手業拾二工 手毬つくり	寛政9年頃	1797頃	錦絵間判	37.8×25.2
12	喜多川 歌麿	風流愛興競 お千代 半兵衛			錦絵大判	35.6×23.0
13	喜多川 歌麿	松葉楼粧ひ 実を通ず風情	寛政11年頃	1799頃	錦絵大判	37.7×24.8
14	喜多川 歌麿	山姥と金太郎	寛政後期-享和期	1800-1804	錦絵大判	38.6×25.4
15	喜多川 歌麿	栗を持つ山姥	寛政後期-享和期	1800-1804	長絵	50.3×22.0
16	喜多川 歌麿	雪の橋場			長絵	51.0×19.0
17	喜多川 歌麿	当世好物八景 さわき好	享和2-3年頃	1802-1803頃	錦絵大判	38.2×25.5
18	喜多川 歌麿	教訓親の目鑑 ぐうたら兵衛	享和2年	1802	錦絵大判	36.9×24.2
19	喜多川 歌麿	美人五面相 実があり相	享和期	1801-1804	錦絵大判	35.5×24.0
20	喜多川 歌麿	太閤五妻洛東遊観之図	文化元年	1804	錦絵大判三枚続	37.0×74.5
21	喜多川 歌麿	御所車美人行列の図	文化元-2年頃	1804-1805頃	錦絵大判三枚続	38.4×76.9
22	二代喜多川 歌麿	其姿同じ舞風流・助六伊久	文化3-4年頃	1806-1807頃	錦絵大判	39.0×26.4
23	二代喜多川 歌麿	玉屋内花紫	文化期	1804-1818	錦絵間判	34.1×22.8
24	二代喜多川 歌麿	福遊小宝合	文化期	1804-1818	錦絵大判	37.5×25.5
25	喜多川 秀麿	高名金花池	享和-文化期	1801-1818	錦絵大判	38.5×25.0
26	喜多川 秀麿	風俗十二時 巳ノ刻	享和-文化期	1801-1818	錦絵間判	31.5×22.0
27	喜多川 菊麿	三味線芸者	文化期頃	1804-1818頃	団扇絵	24.6×35.6
28	喜多川 月麿	芸尽し見立宝船	文化元-文政13年頃	1804-1830頃	錦絵大判	38.0×25.3
29	二代喜多川 歌麿 喜多川月麿 歌川国貞	三美人の図			摺物横長判	19.8×53.4
30	喜多川 式麿	今容女歌仙 扇屋内花扇	文化10年頃	1813頃	錦絵大判	39.2×26.7
31	晩器	五郎時宗とけいまい坂少将	享和-文化期	1801-1818	柱絵	61.5×11.5
32	石上	金糸縫当世鹿子 おなつ 清十郎			錦絵間判	32.5×21.2
33	文浪	若衆虚無僧と娘	享和期	1801-1804	錦絵間判	35.0×22.5
34	白峨	青楼美人花合 丁子屋内唐琴			錦絵間判	34.0×23.2
35	百斎 久信	七福対春の寿 よみぞめ			錦絵大判	38.2×25.0
36	千万	吉原俄	文化前期	1804頃	錦絵大判	39.0×26.2

第2章 栄之とその門人

No.	絵師	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	判型	画面寸法
37	鳥文斎 栄之	まつもと楼料亭内	寛政3-4年頃	1791-1792頃	錦絵大判三枚続	36.5×73.7
38	鳥文斎 栄之	青楼美撰合 初買座敷之図 扇屋内瀧川	寛政8-9年頃	1796-1797頃	錦絵大判	35.6×24.0
39	鳥高斎 栄昌	吉原俄	寛政6-9年頃	1794-1797頃	錦絵大判	38.0×24.6
40	一楽亭 栄水	松葉屋内 瀧川	寛政後期	1801頃	錦絵大判	37.3×23.4
41	栄烏	青楼美人合 五明楼文越	寛政期	1789-1801	錦絵大判	36.7×24.0
42	礫川亭 永理	権八 小紫	寛政後期	1800頃	錦絵大判	36.8×24.5
43	五郷	あふき屋内美人	天明7-寛政2年	1787-1790	錦絵大判	37.3×25.6
44	鳥轉斎 栄寿	大黒天打出の小槌とおいらん	寛政後期	1800頃	錦絵大判	35.7×24.5
45	鳥園斎 栄深	鷹匠	寛政-文化期	1789-1818	錦絵大判	37.4×25.0

第3章 美人画の流れ

46	鳥居 清長	四季八景 長夏夕照	安永8年頃	1779頃	錦絵中判	24.9×18.8
47	鳥居 清長	当世遊里美人合 辰巳艶	天明2-4年	1782-1784	錦絵大判	38.0×24.8
48	鳥居 清長	隅田川船遊び	天明期	1781-1789	錦絵大判三枚続	37.8×77.2
49	窪 俊満	料亭夜の景 堀の内外	天明後期	1788頃	錦絵大判三枚続 紅嫌い	37.0×75.5
50	關牛斎 円志	隅田川料亭図	安永-寛政期	1772-1801	錦絵大判三枚続	37.2×74.2
51	栄松斎 長喜	座敷の大童山文五郎	寛政3-7年頃	1791-1795頃	錦絵大判二枚続	37.0×48.5
52	吐雲	四季之句合			錦絵中判	25.5×18.9
53	北尾 政演	金澤八景 洲崎の晴嵐	安永9年頃	1780頃	錦絵中判	24.1×18.2
54	北尾 政演	当世艶風拾形図	天明2年頃	1782頃	錦絵中判	24.8×18.6
資料		表紙「吉原傾城新美人合自筆鏡」	天明4年刊行			37.3×25.4
55	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 滝川 花扇	天明4年	1784	摺絵本	37.0×49.6
56	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 瀧川 松人	天明4年	1784	摺絵本	37.0×50.2
57	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 よつめ屋内なな里	天明4年	1784	摺絵本	37.0×50.2
58	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 角玉屋濃紫 角玉屋花紫	天明4年	1784	摺絵本	37.0×50.1
59	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4年	1784	摺絵本	37.0×50.1
60	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 まつかね屋 うち東家 九重	天明4年	1784	摺絵本	37.0×50.1
61	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4年	1784	摺絵本	37.0×50.1
62	勝川 春潮	七小町草紙洗小町見立			錦絵中判	26.4×19.7
63	勝川 春潮	見立妹背山 桜満開二階座敷ノ図	天明後期-寛政前期	1788-1790頃	錦絵大判三枚続	37.8×77.0
64	勝川 春洞	千話鏡月の村雲 糸屋妹小いと 佐七姉おふさ	寛政-文化期	1789-1818	錦絵大判	38.5×25.4
65	歌川 豊広	雪の手水鉢	寛政-享和期頃	1789-1804頃	錦絵間判	32.6×21.1
66	歌川 豊広	拳遊びの二美人			錦絵大判二枚続	37.1×50.4
67	歌川 豊国	御高祖頭巾の女			掛物絵	73.5×23.9
68	歌川 豊国	初花月若菜摘の図			錦絵間判	33.1×22.9
69	歌川 豊国	歌川十二景 三月	寛政11-12年頃	1799-1800頃	錦絵間判	33.7×23.1
70	歌川 豊国	品川料亭の図			錦絵大判三枚続	36.5×74.0
71	歌川 豊国・歌川国満	鞍馬山見立花合戦 牛若丸	享和期	1801-1804	錦絵大判三枚続	38.5×76.0
72	彫工亭 俊正	風俗図			摺物横長判	18.9×47.3

No.	絵師	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	判型	画面寸法
73	勝川春英・歌川豊国・ 他	風俗図			摺物横長判	19.5×50.7
第4章 美人画の流れ 爛熱の化政文化 文化・文政期を中心として						
74	菱川 柳谷	風流和歌三夕	文化5年頃	1808頃	錦絵大判	37.6×25.0
75	勝川 春暁	若松屋内 緑木	文化9年頃	1812頃	錦絵大判	38.7×26.2
76	勝川 春扇	雪中内儀			掛物絵	74.3×25.0
77	歌川 豊清	今やう美人娘あわせ	文化期	1804-1818	錦絵大判	37.5×25.2
78	菊川 英山	手水鉢の母子	文化中期	1810頃	掛物絵	72.8×24.1
79	菊川 英山	風流女六歌仙 小野小町			錦絵大判	38.5×26.5
80	菊川 英山	風流南驛夕干 品川料亭の図			錦絵大判三枚続	36.2×75.4
81	葛飾 北斎	春の行楽			摺物横長判	18.7×49.3
82	溪斎 英泉	美艷仙女香 潮くさき美人やふねの朝霞 (文明中期)	文政6年頃	1823頃	錦絵大判	38.9×26.0
83	溪斎 英泉	浮世風俗美女競 一泓秋水浸芙蓉	文政7年頃	1824頃	錦絵大判	35.6×24.7
84	歌川 国貞	ほたる狩り	文化後期-文政前期	1818頃	錦絵大判三枚続	36.0×74.7
85	歌川 国芳	梅の魁(さきがけ)	文政期以降	1818以降	錦絵大判三枚続	37.3×74.5
86	歌川 広重	東都名所 両国夕すずみ	天保2年-安政5年	1831-1858	錦絵大判三枚続	37.0×74.9
87	歌川 広重	雪月花夜の眺 隅田堤間の桜	天保2年-安政5年	1831-1858	団扇絵	38.0×45.5
第5章 役者絵						
88	勝川 春章	四世岩井半四郎の揚巻と 二世市川八百蔵の助六	安永5年頃	1776頃	錦絵大判	36.7×24.7
89	勝川 春章	初世中村仲蔵の清玄	安永6年	1777	錦絵細判	32.7×15.2
90	勝川 春章	初世中村仲蔵の鎮西八郎為朝と 五世市川団十郎の弥平兵衛宗清	安永9年	1780	錦絵間判	31.9×22.0
91	勝川 春章	尾上小三郎 坂東三津五郎	明和7-天明期頃	1770-1789頃	錦絵中判	24.1×17.9
92	勝川 春章	役者絵	明和7-天明期頃	1770-1789頃	錦絵細判	30.0×14.5
93	一筆斎 文調	二世市川高麗蔵	明和後期-安永前期	1772頃	錦絵細判	28.9×14.4
94	勝川 春水	沢村宗十郎	寛保-明和期	1741-1772	錦絵細判	32.4×14.9
95	東花堂 線橋	坂東三津五郎			錦絵細判	31.0×13.9
96	鳥居 清長	出語り図 四世松本幸四郎の浮田左金吾 と三世沢村宗十郎の高尾の幽鬼	天明8年	1788	錦絵大判	37.8×25.4
97	勝川 春好	四世岩井半四郎	安永9年頃	1780頃	錦絵中判	28.1×21.1
98	勝川 春好	初世尾上松助 三世市川八百蔵 五世市川団十郎	天明前期	1781頃	錦絵細判三枚続	31.0×42.0
99	勝川 春好	市江 四世市川団蔵の暫	明和後期-天明期	1771-1789	錦絵細判	31.0×13.5
100	勝川 春英	四世岩井半四郎 大和屋杜若			錦絵細判	31.6×14.0
101	勝川 春山	三世市川八百蔵の道成寺	天明後期	1788頃	錦絵細判	29.5×12.1
102	勝川 春泉	四世松本幸四郎	天明後期-寛政前期	1789頃	錦絵細判	28.3×13.3
103	勝川 春艶	三世市川高麗蔵 初世中山富三郎 八世森田勘弥	寛政6年頃	1794頃	団扇絵	23.0×24.1
104	無款	役者絵			団扇絵	23.5×26.0
105	喜多川 歌麿	役者絵			錦絵細判	28.6×14.5

No.	絵師	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	判型	画面寸法
106	東洲斎 写楽	中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と 中村此蔵の船宿かな川やの権	寛政6年	1794	錦絵大判	37.7×24.5
107	東洲斎 写楽	二世市川門之助 伊達の与作	寛政6年	1794	錦絵大判	38.4×25.3
108	叢 豊丸	市川白猿 大友の黒主	寛政12年	1800	錦絵細判	26.4×13.5
109	歌川 豊国	役者舞台之姿絵 はま村や	寛政6年	1794	錦絵大判	38.0×25.4
110	歌川 豊国	三世坂東彦三郎の菅丞相と 七世片岡仁左衛門の白太夫	寛政8年	1796	錦絵大判	37.0×25.7
111	歌川 国政	見立役者浄瑠璃理狂言 おさん 長右衛門			錦絵間判	31.0×21.7
112	歌川 豊国	市川団十郎の助六			団扇絵	22.0×25.0
113	歌川 豊国	岩井半四郎の揚巻			団扇絵	22.1×24.4
114	歌川 豊国	松本幸四郎の伊久			団扇絵	21.6×24.0
115	歌川 国貞	岩井半四郎の白井権八	文化期以降	1804以降	団扇絵	23.0×25.7

第6章 肉筆画

116	鳥文斎 栄之	小野小町雨乞	寛政後期以降	1801頃以降	絹本 軸	87.5×30.8
117	鳥玉斎 栄京	朝妻船			絹本 軸	85.3×32.3
118	喜多川 藤麿	見立六歌仙	享和-文化期頃	1801-1817頃	絹本 軸 二重箱	110.0×41.5
119	二代喜多川 歌麿	花魁	文化3-文政期頃	1806-1830頃	絹本 軸	84.5×28.5
120	喜多川 月麿	三味線芸者	文化元-文政13 年	1804-1830	絹本 軸	111.6×44.6
121	喜多川 雪麿	恵比寿見立			紙本 軸	94.5×30.0
122	喜多川 雪麿	大黒見立			紙本 軸	94.5×30.0
123	喜多川 式麿	福祿寿と遊女			絹本 軸	111.0×52.0
124	千嶺	蚊帳美人	文化9年	1812	絹本 軸	91.3×31.9
125	窪 俊満	蛭を追う二美人			絹本 軸	89.1×32.0
126	宮川 春水	花魁			紙本 軸	81.5×25.3
127	無款	花魁道中			紙本 軸	121.0×56.0
128	酔夢亭 蕉鹿	桜下太夫道行			絹本 軸	86.5×45.4
129	歌川 豊国	桜下上臈詠歌の図			絹本 軸	89.5×25.8
130	菊川 英山	立美人			紙本 軸	109.0×29.0
131	歌川 国久	雪の中の芸者	享和-文化期頃	1801-1818頃	絹本 軸	91.6×31.8
132	勝川 春暁	岡場所の女			絹本 軸	87.1×26.8
133	春川 五七	立美人	文化-天保2年	1804-1831	紙本 軸	124.0×28.0
134	歌川 国直	亀井戸天神太鼓橋	文化-天保期頃	1804-1844頃	絹本 軸	87.2×38.1
135	月斎 歌政	雪の橋上美人	文政期頃	1818-1830頃	絹本 軸	100.0×42.0

特別展示

花魁衣装やかんざし、櫛など装身飾具等57点を展示

異界へのいざない

—妖怪大集合

- 会期** 平成27年7月18日(土)～8月30日(日)
- 主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：株式会社 水木プロダクション, 株式会社 KADOKAWA, 株式会社 角川大映スタジオ
後援：茨城新聞社, 朝日新聞水戸総局, 毎日新聞水戸支局, 読売新聞水戸支局, 産経新聞水戸支局, 東京新聞水戸支局, NHK水戸放送局, 北茨城市

- ポスター** B2
- チラシ** A4
- 図録** 縦25.7×横19cm 63頁
- 開催日数** 38日間
- 入場者数** 22,938人
- 観覧料** 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数** 101点(日本画33点, 浮世絵50点, 水彩10点, 刊行本8点)

●**内容解説**

夜の暗闇や人智を超えた奇怪な現象, 存在は, 人々に畏怖や恐怖をもたらすばかりではなく, 古来様々な妖怪話として民間の伝承や説話としても語り継がれてきた。それらは絵画にも描かれ, 特に中世の, 霊を宿した道具たちが行列をなして闇夜を跋扈する様を描いた「百鬼夜行」絵巻などは, 現代に通じる妖怪の図像としても受け継がれている。さらに江戸時代の太平の世では, 浮世絵の大量印刷メディアによって紹介される妖怪が, 豊かな表現と共に独立したキャラクターとして民衆の目を楽しませている。また近代では, 狩野派や浮世絵師歌川国芳のながれをくみ, 優れた描写力を駆使して斬新な画題を開拓した河鍋晩斎や, 奥深い自然に育まれる湖沼の精霊

たちを幻視した小川芋銭など, 茨城ゆかりの画家や近代日本画家たちが描く個性豊かな妖怪の表現が注目される。

本展では, 近世から現代に至る妖怪を描いた日本画や浮世絵などをおして, その諸相を紹介するとともに, キャラクター化された妖怪画の魅力についても触れ, 日本人にとって妖怪が今日まで身近な存在としてあり続ける意味をさぐった。

●**担当** 三代博紀(首席学芸主事)

●**関連事業**

スペシャルギャラリートーク

講師：立石尚之(古河歴史博物館学芸員)

日時：8月8日(土)午後1時30分～

妖怪おはなし会—まかフシギ妖怪伝説—

出演：常陸太田図書館友の会

日時 8月9日(日)午前11時～、午後2時～
(各回 約40分)

映画「妖怪大戦争」上映会

2005年/124分/カラー/角川映画・「妖怪大戦争」製作委員会

日時 8月16日(日)午後1時～

「あなたも妖怪に変身」

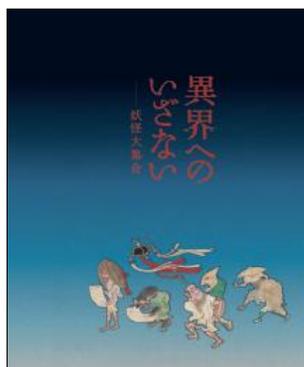
日時 7月18日(土), 19日(日), 20日(月・祝),
8月1日(土), 2日(日), 15日(土), 22日(土)
各日午後1～3時

展覧会担当によるギャラリートーク

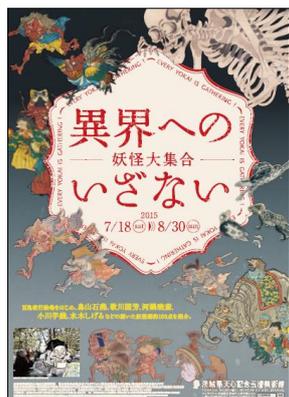
日時 7月25日(土), 8月23日(日)
各日午後1時30分～

夜のギャラリートーク「妖怪ツアー」

日時 8月22日(土) 日没より午後8時まで



図録



ポスター B2



チラシ A4

●関連記事

- ・異界へのいざない-妖怪大集合-
7月7日【毎日新聞】
- ・異界の扉 開けて涼しく 古今の妖怪画、来月まで五浦美術館が企画展 歌川国芳・水木しげるなど県内初公開含む 101点
7月15日【朝日新聞】
- ・異界へのいざない-妖怪大集合- 茨城県天心記念五浦美術館
7月16日【両毛新聞】
- ・恐怖で冷える 妖怪絵画展 北茨城あすから 県内初公開は68点
7月17日【読売新聞】
- ・茨城県天心記念五浦美術館
7月22日【交通新聞】
- ・妖怪画展大集合 北茨城の美術館 水木さんの作品も
7月30日【毎日新聞】
- ・妖怪画、多彩な題材 県五浦美術館「日本文化に触れて」
7月30日【茨城新聞】

- ・異界へのいざない-妖怪大集合-
8月6日【まいいばらき】
- ・「妖怪大集合展」でトークイベント 北茨城
8月9日【毎日新聞】
- ・異界へのいざない-妖怪大集合- 近世から現代までのルーツ・文化を紹介 天心記念五浦美術館
8月14日【とちぎ朝日】
- ・企画展「異界へのいざない-妖怪大集合-」
8月21日【産経新聞】
- ・「いっばっチャオ！」
7月30日【NHK 水戸放送局】
- ・「スクーパーレポート」
7月30日【茨城放送】
- ・「ニュース」
8月15日【日立ケーブルテレビ JWAY】
- ・「ニュース」
8月5日 NHK【水戸放送】
- ・「はらぺこキッズ」
8月2日【FM ひたち】

● 出品作品一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵先
序章 躍動する妖怪たち—百鬼夜行絵巻						
1	狩野洞雲益信	百鬼夜行図	江戸時代	紙本・彩色・巻子	29.0×1196.0	国立歴史民俗博物館
2	不詳	百鬼夜行	不詳	紙本・彩色・巻子	36.7×1232.7	早稲田大学図書館
第1章 妖怪ものがたり—浮世絵に描かれた妖怪たち						
3	鳥居清長	金太郎小鬼の相撲を見る	天明期	大判錦絵		神奈川県立歴史博物館 ※2
4	歌川国貞	昔語岡崎猫石妖怪	弘化4年	大判錦絵三枚続		早稲田大学演劇博物館 ※1
5	歌川広重	江戸の花 大江山酒吞童子	文政2年	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館 ※2
6	歌川広重	義経一代図会 二回 鞍馬山僧正か谷におゐる牛若丸異人に剣法を学ぶ	天保8-9年	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館 ※4
7	歌川広重	平清盛怪異を見る図	天保14-弘化3年	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館 ※4
8	歌川国芳	肥後国水俣の海上にて為朝難風に遇舟くつがへらんとしたりし時讃岐の院の冥助により高間ふうふの一念鮫このりうつりて舜天丸紀平二をすくふ	天保10年頃	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館 ※4
9	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛作妖怪図	天保14年	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館 ※4
10	歌川国芳	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	嘉永2-3年	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館 ※2

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵先	
11	歌川国芳	五条橋の牛若と弁慶と天狗	嘉永3年	大判錦絵三枚続		神奈川県立歴史博物館	※2
12	歌川国芳	頼光大江山入之図	嘉永6年	大判錦絵三枚続		早稲田大学演劇博物館	※5
13	歌川国芳	本朝武者鏡 渡辺綱	安政2年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館	
14	歌川国芳	相馬の古内裏	江戸時代	大判錦絵三枚続		さしま郷土館ミュージズ (坂東市立猿島資料館)	
15	歌川芳艶	破奇術頼光袴垂為搦	安政5年	大判錦絵三枚続		早稲田大学図書館	
16	二代歌川国貞	傾城薄雲-田之助・酒田金時-芝翫	元治元年	大判錦絵三枚続		国立歴史民俗博物館	
17	歌川芳虎	古今こん悪狐退治	文久3年	大判錦絵三枚続		国立歴史民俗博物館	
18	歌川芳虎	越中山の地獄谷に肉芝道人蛙合戦 の奇をあらはし良門伊賀寿の両雄に 妖術を授く	元治元年	大判錦絵三枚続		国立歴史民俗博物館	
19	二代歌川国久	三浦上総両介那須野九尾狐討取	安政5年	大判錦絵三枚続		国立歴史民俗博物館	
20	落合芳幾	百鬼夜行相馬内裏	明治26年	大判錦絵三枚続		さしま郷土館ミュージズ (坂東市立猿島資料館)	
21	豊原国周	童戯五拾三次之内・四日市	慶応2年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館	
22	歌川芳員	百種怪談妖物双六	安政5年	小奉書二枚貼錦絵		国立歴史民俗博物館	
23	歌川芳員	源頼政鶴退治之図	不詳	大判錦絵三枚続		早稲田大学演劇博物館	※3
24	不詳	四天王化物蠟燭	慶応4年	大判錦絵二枚続		国立歴史民俗博物館	
25	玉園	画本西遊記 百鬼夜行ノ図	不詳	大判錦絵三枚続		早稲田大学演劇博物館	※3
26	秀斎	後鳥羽法皇の夢中にあらわれる妖怪 の図	慶応元年	大判錦絵六枚続		国立歴史民俗博物館	
27	月岡芳年	桃太郎豆蔲之図	安政6年	大判錦絵三枚続		早稲田大学図書館	
28	月岡芳年	楠多門丸古狸退治之図	万延元年	大判錦絵三枚続		早稲田大学図書館	
29	月岡芳年	和漢百物語 登喜大四郎	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※5
30	月岡芳年	和漢百物語 小野川喜三郎	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※3
31	月岡芳年	和漢百物語 酒吞童子	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※1
32	月岡芳年	和漢百物語 宮本無三四	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※1
33	月岡芳年	和漢百物語 不破伴作	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※3
34	月岡芳年	和漢百物語 鷺池平九郎	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※3
35	月岡芳年	和漢百物語 大宅太郎光圀	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※5
36	月岡芳年	和漢百物語 白藤源太	慶応元年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	※1
37	月岡芳年	美談武者八景 戸隠の晴嵐	明治元年	大判錦絵三枚続		早稲田大学演劇博物館	※1
38	月岡芳年	平惟茂戸隠山鬼退治之図	明治20年	大判錦絵縦二枚続		早稲田大学演劇博物館	※5

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵先
39	月岡芳年	新形三十六怪撰 老婆鬼腕を持去る図	明治22年	大判錦絵		神奈川県立歴史博物館 ※2
40	月岡芳年	新形三十六怪撰 清盛福原に数百の 人頭を見る図	明治23年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館
41	月岡芳年	新形三十六怪撰 葛の葉きつね童子 とわかるるの図	明治23年	大判錦絵		神奈川県立歴史博物館 ※2
42	月岡芳年	新形三十六怪撰 平惟茂戸隠山に悪 鬼を退治す図	明治23年	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館 ※5
43	月岡芳年	新形三十六怪撰 内裏に猪早太鶴を 刺図	明治23年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館
44	月岡芳年	新形三十六怪撰 おもみつゝら	明治25年	大判錦絵		神奈川県立歴史博物館 ※4
45	月岡芳年	新形三十六怪撰 源頼光土蜘蛛ヲ切 ル図	明治25年	大判錦絵		神奈川県立歴史博物館 ※2
46	月岡芳年	新形三十六怪撰 茂林寺の文福茶釜	明治25年	大判錦絵		神奈川県立歴史博物館 ※4
47	三代歌川国輝	本所七不思議之内 狸囃子	明治19年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館
48	三代歌川国輝	本所七不思議之内 無燈蕎麦	明治19年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館
49	三代歌川国輝	本所七不思議之内 足洗邸	明治19年	大判錦絵		国立歴史民俗博物館

第2章 妖怪図鑑—鳥山石燕と水木しげる

50	不詳	化物絵巻	江戸時代	紙本・彩色 (卷子)	29.6×768.5	国立歴史民俗博物館
51	鳥山石燕	画図百鬼夜行	安永5年	半紙本三冊	22.1×16.0	専修大学図書館
52	鳥山石燕	今昔画図続百鬼	安永8年	半紙本三冊 のうち二冊	22.1×16.0	専修大学図書館
53	鳥山石燕	今昔百鬼拾遺	安永10年	半紙本三冊 のうち二冊	22.1×16.0	専修大学図書館
54	鳥山石燕	百器徒然袋	天明4年	半紙本三冊 のうち一冊	22.5×16.0	専修大学図書館
55	竹原春泉	絵本百物語	天保12年	半紙本五冊	各 23.0×15.7	早稲田大学図書館
56	水木しげる	小豆洗い	昭和時代	紙・水彩	36.4×51.5	水木プロダクション
57	水木しげる	雪女	昭和時代	紙・水彩	29.7×42.0	水木プロダクション
58	水木しげる	川太郎	昭和時代	紙・水彩	36.4×51.5	水木プロダクション
59	水木しげる	日和坊	昭和時代	紙・水彩	29.7×42.0	水木プロダクション
60	水木しげる	海坊主	昭和時代	紙・水彩	36.4×51.5	水木プロダクション
61	水木しげる	おとろし	昭和時代	紙・水彩	29.7×42.0	水木プロダクション
62	水木しげる	塗壁	昭和時代	紙・水彩	27.6×36.8	水木プロダクション
63	水木しげる	すねこすり	昭和時代	紙・水彩	36.4×51.5	水木プロダクション
64	水木しげる	がたがた橋	昭和時代	紙・水彩	36.4×51.5	水木プロダクション
65	水木しげる	わいら	昭和時代	紙・水彩	29.7×42.0	水木プロダクション

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵先
第3章 河鍋曉斎, 小川芋銭と妖怪						
66	河鍋曉斎	狂斎百狂 どふけ百万編	元治元年	大判錦絵三枚続		古河歴史博物館
67	河鍋曉斎	骸骨遊興図	江戸時代末期～明治時代初期	紙本・墨画 淡彩・軸装	135.0×52.0	古河歴史博物館
68	河鍋曉斎	鍾馗二鬼図	明治時代	絹本・彩色・ 軸装(対幅)	各 171.5× 84.7	板橋区立美術館
69	河鍋曉斎	骸骨図	明治時代	絹本・彩色・ 軸装(対幅)	各 135.4× 61.0	板橋区立美術館
70	河鍋曉斎	猩々酔舞図	明治3年以前	絹本・彩色・ 軸装(対幅)	各 126.0× 57.1	古河歴史博物館
71	河鍋曉斎	鬼の酒宴図	明治4年以降	絹本・彩色	42.8×20.4	古河歴史博物館
72	河鍋曉斎	曉斎楽画 第四号	明治7年	大判錦絵	36.0×24.1	茨城県立図書館
73	河鍋曉斎	曉斎鈍画	明治14年	小本	11.8×17.4	茨城県立図書館
74	河鍋曉斎	曉斎画談	明治20年	大本四冊	25.5×17.6	茨城県近代美術館
75	河鍋曉斎	曉斎百鬼画談	明治22年	折本	21.3×12.3	古河歴史博物館
76	小川芋銭	水草絵巻	大正7年	紙本・墨画 (卷子)	29.3×809.0	茨城県近代美術館
77	小川芋銭	水魘戯	大正12年	紙本・淡彩	62.4×95.2	茨城県近代美術館
78	小川芋銭	夢中野干燈	大正14年	紙本・墨画	62.9×84.6	茨城県近代美術館
79	小川芋銭	雪女	大正末期	絹本・淡彩	127.0×42.0	茨城県近代美術館
80	小川芋銭	雪姥と黒狐	昭和2年	絹本・彩色	102.0×51.0	個人
81	小川芋銭	畑のお化け	昭和4年	絹本・彩色	42.2×57.5	個人
82	小川芋銭	狐隊行	昭和5年	紙本・淡彩	45.3×62.5	茨城県近代美術館
83	小川芋銭	河伯	昭和6年	紙本・墨画	35.5×43.5	茨城県近代美術館
84	小川芋銭	河伯[親子]	昭和6年頃	紙本・墨画	40.8×59.0	茨城県近代美術館
85	小川芋銭	河童	昭和11年	紙本・墨画	36.0×29.0	茨城県近代美術館
86	小川芋銭	女[河童百図の内 第7図]	昭和12年	紙本・墨画	41.0×65.0	茨城県近代美術館
87	小川芋銭	白藤原太の眠らみ[河童百図の内 第23図]	昭和12年	紙本・淡彩	59.5×59.5	茨城県近代美術館
88	小川芋銭	ひかるゝ鳥天狗[河童百図の内 第32図]	昭和12年	紙本・彩色	34.4×64.1	さしま郷土館ミュージズ (坂東市立猿島資料館)
89	小川芋銭	岩になったカッパ[河童百図の内 第58図]	昭和12年	紙本・墨画	59.9×60.0	茨城県近代美術館
90	小川芋銭	水戸浦の産[河童百図の内 第68図]	昭和12年	紙本・墨画	34.3×64.6	茨城県近代美術館
第4章 妖怪たちの行方—妖怪を描いた戦後の日本画家たち						
91	川端龍子	沼の饗宴	昭和25年	紙本・彩色	242.4×727.2	大田区立龍子記念館
92	那波多目煌星	鳥獣曼荼羅	昭和43年	紙本・彩色	210.0×165.0	(宗)華蔵院
93	那波多目煌星	化身	昭和50年	紙本・彩色	222.0×162.0	茨城県近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵先
94	那波多目焯星	巍巍	昭和55年	紙本・彩色	225.0×180.0	智満寺
95	那波多目焯星	驕	昭和57年	紙本・彩色	225.0×150.0	智満寺
96	那波多目焯星	魁	昭和59年	紙本・彩色	147.0×225.0	智満寺
97	那波多目焯星	絵馬幻想	昭和61年	紙本・彩色	174.0×225.0	智満寺
98.1	森田曠平	『夢源氏剣祭文』挿絵原画 茨木と母	平成5年	紙本・彩色 (色紙)	33.0×24.0	茨城県近代美術館
98.2	森田曠平	『夢源氏剣祭文』挿絵原画 茨木と黒蔵主	平成5年	紙本・彩色 (色紙)	24.0×33.0	茨城県近代美術館
98.3	森田曠平	『夢源氏剣祭文』挿絵原画 空駟ける山姥	平成5年	紙本・彩色 (色紙)	24.0×33.0	茨城県近代美術館
98.4	森田曠平	『夢源氏剣祭文』挿絵原画 月夜の茨木	平成6年	紙本・彩色 (色紙)	33.0×24.0	茨城県近代美術館
99	岡村桂三郎	白澤04-1	平成16年	板・岩絵具 (パネル)	225.0× 1080.0×9.0	個人
100	フジイフランソワ	迦陵頻苑	平成24年	和紙・鉛筆・ レイボスティ ー・胡粉・膠・ 顔彩, 水彩・ 墨汁・額装	80.0×180.0	個人
101	フジイフランソワ	胡蝶苑	平成24年	和紙・鉛筆・ レイボスティ ー・胡粉・膠・ 顔彩, 水彩・ 墨汁・額装	70.0×330.0	個人

・会期中一部展示替えを行った。展示期間は以下の通り。なお、全期間展示した作品は無印。

※1 (7月18日～8月2日) ※2 (7月18日～8月9日) ※3 (8月4日～8月16日)

※4 (8月11日～8月30日) ※5 (8月18日～8月30日)

・浮世絵の寸法は概ね、大判(約39×26.5cm)、小奉書(約33×47cm)である。

東西のバルビゾン

コロー、ミレー、大観、春草

- 会期 平成27年9月4日（金）～10月18日（日）
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
後援：茨城新聞社，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，朝日新聞水戸総局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，北茨城市

- チラシ A4
- 入場者数 13,719人
- 開催日数 39日
- 観覧料 一般310(260)円／高大生210(150)円
小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金

- 出品点数 26点（日本画16点 油彩画7点 版画2点 素描1点）

●内容解説

横山大観，下村観山，菱田春草，木村武山は，明治39年（1906），岡倉天心が「東洋のバルビゾン」と称する北茨城の五浦海岸に移り住み，天心の指導のもと，新たな日本画を創造するために切磋琢磨した。本展覧会では，横山大観の「流燈」をはじめとする五浦の4人の作家等の代表作とともに，天心が言及した19世紀フランスのバルビゾン派を代表するコロー，ミレー，ドービニー，トロワイヨンの油彩画，素描，版画を展示し，東西のバルビゾンで育まれた芸術の特長と歴史的意義を紹介した。

- 担当 荒木扶佐子(首席学芸員)

●関連事業

展覧会担当による「東西のバルビゾン」展ギャラリートーク

日時 9月22日(火・祝)，10月10日(土)
各日午後1時30分～

●関連記事

- ・東西のバルビゾン展 茨城県天心記念五浦美術館
8月27日【両毛新聞】
- ・東西のバルビゾン 8月31日【日々の新聞】
- ・自然の美 独自に追求 五浦の画家と仏・バルビゾン派
東西作家の絵画比較 県五浦美術館企画展 天心の思想考察
10月1日【茨城新聞】

●関連放送

- ・「スクーピーレポート」 9月23日【茨城放送】
- ・「いわきおもしろミュージアム」 9月25日【FMいわき】



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
1	カミーユ・コロー	ヴィル・ダヴレーの池(洗濯女たちと水飼場に来る馬)	1847年	油彩・キャンバス	85×100	栃木県立美術館
2	カミーユ・コロー	ヴィル・ダヴレーの湖畔の朝霧	1868-70年頃	油彩・キャンバス	40×56	丸沼芸術の森
3	コンスタン・トロワイヨン	水を渡る牛(帰途)	1855-60年頃	油彩・キャンバス	76.5×98	栃木県立美術館
4	フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860年頃	油彩・キャンバス	51.5×62.2	千葉県立美術館
5	フランソワ・ミレー	草刈をする人々	1852年	木炭・インク・紙	16.5×23	丸沼芸術の森
6	フランソワ・ミレー	ミルク粥	1861年	エッチング・紙	16.1×13	丸沼芸術の森
7	フランソワ・ミレー	羊毛を梳く女		エッチング・紙	17.7×25.7	丸沼芸術の森
8	フランソワ・ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1847年	油彩・キャンバス	116.8×91.4	千葉県立美術館
9	フランソワ・ドービニー	オアーズ河畔	1865年頃	油彩・キャンバス	23×37.5	丸沼芸術の森
10	ギュスターヴ・クールベ	フランシュ=コンテの谷, オルナン付近	1865年頃	油彩・キャンバス	60×91	茨城県近代美術館
11	横山 大観	松月雪景	明治37(1904)年	絹本・彩色・額装	87.5×50	個人
12	横山大観	岩礁の鵜	明治37(1904)年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	個人
13	横山大観	雪影	明治37(1904)年	絹本・彩色・額装	77.1×53.8	個人
14	横山大観	風雪に鷺	明治37(1904)年	絹本・墨画彩色・額装	87.1×49.8	個人
15	横山大観	春曙・秋夜	明治38(1905)年	絹本・彩色・卷子(対)	各109.4×245.4	茨城県近代美術館
16	横山大観	流燈※	明治42(1909)年	絹本・彩色・軸装	143.1×51.5	茨城県近代美術館
17	下村観山	大原の露	明治33(1900)年	絹本・彩色・軸装	248×171	茨城県近代美術館
18	下村観山	帰猟の図	明治37(1904)年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	個人
19	菱田春草	松籟(岡倉天心五浦旧宅書斎小襖絵試作)	明治38(1905)年	紙本・墨画金泥・軸装	173×90	茨城県近代美術館
20	菱田春草	落葉	明治42(1909)年	絹本・彩色・屏風(二曲一双)	各152.8×151.8	茨城県近代美術館
21	木村武山	日本武尊	明治39~40(1906-07)年頃	絹本・彩色・軸装	124.7×33.7	個人
22	木村武山	五浦の朝	明治39~40(1906-07)年頃	絹本・彩色・軸装	46.7×51.6	茨城県近代美術館
23	木村武山	阿房劫火	明治40(1907)年	絹本・彩色・軸装	141×240.8	茨城県近代美術館
24	木村武山	義家勿来関	明治40~41(1907-08)年頃	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7	個人
25	児玉 素光	常陸五浦真景図	昭和14(1939)年頃	紙本・墨画・卷子	66×460	茨城県近代美術館
26	松尾敏男	五浦潮音	平成3(1991)年	紙本・彩色・屏風(六曲一双)	各169×372	茨城県近代美術館

※No.16の展示期間：9月4日～9月23日

没後 70 年 飛田周山展—五浦で学んだ画家たち

- 会期 平成27年10月24日（土）～12月13日（日）
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
後援：茨城新聞社，朝日新聞水戸総局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，北茨城市

- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 A4変形版 縦28cm×横22.5cm 103頁
- 開催日数 44日
- 入場者数 14,809人
- 観覧料 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画 88点

●内容解説

飛田周山は明治10年（1877）茨城県北茨城市に生まれ、はじめ久保田米僊、竹内栖鳳らに入門、明治33年には日本美術院研究所に入って橋本雅邦に学び、また同年第9回日本絵画協会・第4回日本美術院連合絵画共進会に入選する。一方で明治36年岡倉天心を五浦に案内し、その別荘購入に尽力した。これを機に、天心は3年後の明治39年日本美術院第一部（絵画）の五浦移転を執行、横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山が移住して日本美術院の五浦時代が幕を開けることとなる。周山は4人の姿を間近に見ながら絵画研究に励み、文展や帝展での入選や受賞を重ねていった。また中央のみならず、戦前の茨城県日本画壇でも指導的立場に立って活躍し、写実に基づいた的確な描写と水墨の巧みな濃淡表現によって歴史画から山水画まで優れた作品を発表したが、昭和20年（1945）郷里の北茨城市で亡くなった。

● 出品作品一覧



図録



ポスター B2



チラシ A4

本展では岡倉天心を五浦に案内した画家として知られながら、これまで本格的な画業を紹介する機会が少なかった周山の没後70年を機に、文展・帝展の出品作品などを中心に晩年までの76点を展示しその芸術を紹介すると共に、周山同様五浦で天心の薫陶を受けた高橋広湖、尾竹竹坡、勝田蕉琴、今村紫紅、安田靉彦の作品12点を展示し、周山芸術の魅力と「近代日本美術発祥の地」と称される五浦の地の歴史的意義について考えた。

●担当 中田智則（主任学芸員）

●関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時 10月31日（土）、11月29日（日）

各日とも午後1時30分～2時30分

美術講演会「飛田周山の芸術」

講師 中田智則（主任学芸員）

日時 11月13日（金）（県民の日）

午後1時30分～2時30分

●関連記事

- ・没後70年 五浦で学んだ画家たち「飛田周山展」
茨城県天心記念五浦美術館 9月26日【常陽リビング】
- ・没後70年飛田周山展—五浦で学んだ画家たち—天心を茨城に案内した画家！茨城県天心記念五浦美術館
10月14日【茨城新聞】
- ・五浦の画家 作品並ぶ—24日から 没後70年 飛田周山展—
10月20日【読売新聞】
- ・飛田周山展 10月31日【日々の新聞】
- ・—12月13日まで—五浦美術館— 没後70年 飛田周山展
1月19日【よみうりタウンニュース】

●関連放送

- ・「スクーパーレポート」 11月12日【茨城放送】
- ・「ニュース」 11月14日【NHK水戸放送局】

No.	作家名	作品名	制作年(西暦)	材質・技法・形状	寸法	所蔵先	展示期間
第1部 飛田周山							
1	飛田周山	蓬萊	大正3年(1914)	絹本・墨画彩色・軸装(対幅)	各129.8×51.6	個人	
2	飛田周山	旭日双鶴図	大正3年(1914)頃	絹本・彩色・軸装	118.6×48.8	個人	
3	飛田周山	星合いのそら	大正4年(1915)	紙本・彩色・四曲一隻屏風	172.5×355.6	個人	
4	飛田周山	出山之釈迦	大正5年(1916)	絹本・墨画彩色・軸装	116.5×41.7	個人	
5	飛田周山	風神雷神	大正5年(1916)	紙本・彩色・軸装(円窓・対幅)	各径87.0	個人	
6	飛田周山	豊干	大正5年(1916)頃	紙本・墨画・軸装(対幅)	各133.7×30.4	個人	
7	飛田周山	月下野狐之図	大正5年(1916)頃	絹本・彩色・軸装	132.0×41.5	個人	
8	飛田周山	後圃秋色	大正6年(1917)	紙本・彩色・軸装	148.4×46.9	個人	
9	飛田周山	幽居の秋	大正6年(1917)	絹本・彩色・六曲一双屏風	各169.2×372.5	個人	
10	飛田周山	水郷めぐり 風雨泊舟(佐原)	大正6年(1917)	紙本・墨画・まくり	47.7×184.8	個人	
11	飛田周山	水郷めぐり 浮洲仙裳(浮島)	大正6年(1917)	紙本・彩色・まくり	47.7×185.4	個人	
12	飛田周山	水郷めぐり 嵐光水色(牛堀)	大正6年(1917)	紙本・彩色・まくり	47.5×184.7	個人	
13	飛田周山	水郷めぐり 神苑曉靄(鹿島)	大正6年(1917)	紙本・墨画淡彩・まくり	47.7×185.9	個人	
14	飛田周山	水郷めぐり 水郷暮色(北浦)	大正6年(1917)	紙本・墨画淡彩・まくり	47.5×186.7	個人	
15	飛田周山	水郷めぐり 月光燈影(銚田)	大正6年(1917)	紙本・墨画淡彩・まくり	47.7×185.3	個人	
16	飛田周山	水郷めぐり 水郷暮色(土浦)	大正6年(1917)	紙本・墨画淡彩・まくり	47.7×185.3	個人	
17	飛田周山	水郷めぐり 雲烟吞吐(筑波)	大正6年(1917)	紙本・墨画・まくり	47.9×186.7	個人	
18	飛田周山	水郷めぐり 真鍋ノ大並木(土浦)	大正6年(1917)	紙本・墨画・まくり	47.9×185.7	個人	
19	飛田周山	蓬萊	大正6年(1917)	絹本・彩色・軸装	118.2×41.3	個人	
20	飛田周山	南泉斬猫	大正6年(1917)頃	紙本・墨画・軸装	128.2×30.4	個人	
21	飛田周山	神功皇后・武内宿禰	大正7年(1918)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各102.1×34.0	個人	
22	飛田周山	蓬萊仙閣	大正7年(1918)	絹本・彩色・軸装	141.2×51.2	個人	
23	飛田周山	晚靄	大正8年(1919)	絹本・墨画・軸装	117.0×41.8	個人	
24	飛田周山	晚靄蕭寺	大正8年(1919)	絹本・彩色・軸装	132.2×50.4	個人	
25	飛田周山	蓬萊曉色	大正8年(1919)	絹本・彩色・軸装	142.0×50.3	個人	
26	飛田周山	白雲青峰図	大正8年(1919)	絹本・墨画・軸装	114.1×40.8	葵美術	
27	飛田周山	蓬萊曉色	大正8~9年 (1919-20)頃	絹本・彩色・軸装	135.1×50.8	個人	
28	飛田周山	清風明月	大正9年(1920)	絹本・墨画・軸装	137.0×49.7	さしま郷土館 ユーズ(坂東市 立猿島資料館)	
29	飛田周山	富嶽図	大正9年(1920)	絹本・墨画・軸装	135.3×42.1	個人	
30	飛田周山	文殊菩薩	大正9年(1920)	紙本・彩色・軸装	182.0×77.2	個人	
31	飛田周山	雲山晚鴉図	大正9年(1920)	絹本・彩色・軸装	136.8×51.2	葵美術	
32	飛田周山	春雨図	大正10年(1921)	紙本・墨画彩色・軸装	127.9×29.8	個人	
33	飛田周山	富士山(『飯村丈三郎古稀記念 画冊』のうち)	大正11年(1922)	絹本・彩色・画冊	26.0×36.0	個人	
34	飛田周山	樹下石上図	大正11年(1922)	紙本・墨画彩色・軸装	157.4×58.0	個人	
35	飛田周山	雨中松林山水図	大正11年(1922)	絹本・彩色・軸装	136.0×51.1	個人	
36	飛田周山	雨霽図	大正11年(1922)頃	絹本・彩色・軸装	131.0×41.8	個人	
37	飛田周山	蛇の鼻御殿 杉戸絵「老松図」	大正12年(1923)	板・彩色・杉戸(6面)	左4面:各162.8 ×106.5 右2面: 各163.8×80.8	花と歴史の郷 蛇の鼻	
38	飛田周山	松下高士図	大正12年(1923)	絹本・彩色・軸装	143.4×51.0	個人	
39	飛田周山	鍾馗図	大正13年(1924)	絹本・彩色・軸装	140.8×50.0	葵美術	
40	飛田周山	白雲紅樹図	大正15年(1926)	絹本・墨画彩色・軸装	127.8×42.2	個人	

No.	作家名	作品名	制作年(西暦)	材質・技法・形状	寸法	所蔵先	展示期間
41	飛田周山	翁柴刈図	大正末~昭和初年	絹本・墨画彩色・軸装	131.2×51.2	個人	
42	飛田周山	春曉図	昭和2年(1927)	絹本・彩色・軸装	130.3×42.3	個人	
43	飛田周山	春景図	昭和3年(1928)	絹本・彩色・軸装	127.0×42.0	個人	
44	飛田周山	雲中古塔図	昭和6年(1931)	絹本・墨画淡彩・軸装	138.7×51.3	常陸太田市郷土資料館	
45	飛田周山	僊山曉色図(蓬萊)	昭和6年(1931)	絹本・彩色・軸装	137.4×51.4	水戸美術	
46	飛田周山	白衣観音像	昭和6年(1931)	絹本・彩色金泥・軸装	137.0×40.0	個人	
47	飛田周山	森漫	昭和10年(1935)	絹本・彩色・額装	92.0×114.0	茨城県近代美術館	
48	飛田周山	長城の曉	昭和10年(1935)	紙本・墨画淡彩・軸装	106.1×65.5	茨城県立太田第一高等学校	
49-1	飛田周山	梅溪春曉図	昭和10年(1935)	絹本・墨画淡彩・軸装(四幅対)	127.5×42.2	個人	
49-2	飛田周山	夏江滄漁図	昭和10年(1935)	絹本・墨画淡彩・軸装(四幅対)	127.5×42.2	個人	
49-3	飛田周山	江山秋晴図	昭和10年(1935)	絹本・墨画淡彩・軸装(四幅対)	127.5×42.2	個人	
49-4	飛田周山	雪嶺寒鴉図	昭和10年(1935)	絹本・墨画淡彩・軸装(四幅対)	127.5×42.2	個人	
50	飛田周山	筑波曉靄図	昭和10~14年(1935-39)頃	紙本・墨画・軸装	45.8×58.0	個人	
51	飛田周山	曉山雲	昭和11年(1936)	紙本・墨画淡彩・軸装	127.2×166.2	東京藝術大学	
52	飛田周山	蔬菜家鼠図	昭和11年(1936)	絹本・彩色・軸装	125.0×42.6	水戸美術	
53	飛田周山	楊柳観世音菩薩尊像	昭和12年(1937)	紙本・墨画金泥・軸装	147.0×62.6	長松寺	
54	飛田周山	皎月六趣	昭和14年(1939)	紙本・墨画・軸装	60.5×87.8	個人	
55	飛田周山	皎月六趣	昭和14年(1939)	紙本・墨画・軸装	61.0×88.2	個人	
56	飛田周山	大峯の行者	昭和15年(1940)	紙本・彩色・軸装	234.5×147.3	周山会(北茨城市指定文化財)	
57	飛田周山	夏山浴雨図	昭和15年(1940)	紙本・墨画・軸装	132.0×41.6	個人	
58	飛田周山	嶺頭曉雲図	昭和16~20年(1941-45)頃	絹本・墨画淡彩・軸装	124.9×41.3	個人	
59	飛田周山	桃源春曉図	昭和18年(1943)	紙本・彩色・軸装	48.0×51.8	個人	
60	飛田周山	振威八荒	昭和19年(1944)	紙本・墨画淡彩・軸装	79.0×90.3	個人	
61	飛田周山	団扇 楼閣山水図	大正5年(1916)頃	紙本・墨画・団扇	23.8×23.7	個人	
62	飛田周山	団扇 溪流図	大正5年(1916)頃	紙本・彩色・団扇	23.8×23.7	個人	
63	飛田周山	団扇 古塔図	大正5年(1916)頃	紙本・墨画淡彩・団扇	23.8×23.7	個人	
64	飛田周山	団扇 白花図	大正5年(1916)頃	紙本・彩色・団扇	23.8×23.7	個人	
65	飛田周山	団扇 蓮に水黾図	大正5年(1916)頃	紙本・彩色・団扇	23.8×23.7	個人	
66	飛田周山	扇面 山水図	大正5~6年(1916-17)頃	紙本・墨画・扇子	14.0×39.6	個人	
67	飛田周山	扇面 罌粟図	大正6年(1917)頃	紙本・彩色・扇子	10.3×29.7	個人	
68	飛田周山	扇面 富士図	大正6年(1917)頃	紙本・彩色・額装	16.5×47.2	個人	
69	飛田周山	扇面 雷神図	大正7~8年(1918-19)頃	紙本・彩色・扇子	14.0×39.5	個人	
70	飛田周山	扇面 白花図	大正7~8年(1918-19)頃	紙本・彩色・扇子	14.0×38.7	個人	
71	飛田周山	扇面 布袋図	大正7~8年(1918-19)頃	紙本・墨画・扇子	15.7×45.1	個人	
72	飛田周山	扇面 李白図	大正7~8年(1918-19)頃	紙本・彩色・扇子	14.0×39.0	個人	
73	飛田周山	扇面 楼閣山水図	大正7~8年(1918-19)頃	紙本・墨画・扇子	14.0×39.8	個人	
74	飛田周山 他	水郷めぐり絵巻(全23図のうち)	大正6年(1917)	卷子		個人	
-1	飛田周山	(無題)		紙本・墨画淡彩	18.7×39.0		
-2	飛田周山	浮島の茶屋		紙本・墨画	16.8×22.0		

No.	作家名	作品名	制作年(西暦)	材質・技法・形状	寸法	所蔵先	展示期間
-3	飛田周山	水國の夜		紙本・墨画	16.7×215		
-4	飛田周山	漁夫の家		紙本・墨画	16.7×22.7		
-5	飛田周山	鹿島ノ神苑		紙本・墨画淡彩	16.7×22.1		
-6	飛田周山	北浦の暮色		紙本・墨画淡彩	16.8×18.6		
-7	飛田周山	銚田ノ入口		紙本・墨画	16.7×21.5		
-8	飛田周山	大洗の松濤		紙本・墨画	16.8×21.0		
-9	飛田周山	於魚来庵		紙本・墨画	18.0×10.0		
75	飛田周山 他	半嶋めぐり絵巻(全27図のうち)	大正8年(1919)	卷子		個人	
-1	飛田周山	小田原		紙本・墨画	18.1×22.1		
-2	飛田周山	谷間のいでゆ 底くら		紙本・墨画	18.3×24.4		
-3	飛田周山	初島の漁家		紙本・墨画	17.25×24.4		
-4	飛田周山	熱海附近		紙本・墨画	18.0×24.5		
-5	飛田周山	熱海梅園		紙本・墨画淡彩	17.5×23.7		
76	飛田周山	伝説の淵(画稿)	大正10年(1921)	紙本・彩色・軸装	48.0×79.0	葵美術	
第2部 五浦で学んだ画家たち							
77	高橋広湖	馬上の誉(加茂競馬)	明治41年(1908)	絹本・彩色・六曲一双屏風	各161.6×345.6	三溪園	※1
78	尾竹竹坡	おとづれ	明治43年(1910)	紙本・彩色・六曲一双屏風	各155.0×358.6	東京国立近代美術館	※2
79	勝田蕉琴	出城釈迦	明治40年(1907)	絹本・彩色・軸装	99.0×67.0	福島県立美術館	
80	勝田蕉琴	雨後・暮雪	大正3年(1914)	絹本・墨画彩色・軸装(対幅)	各120.0×51.4	個人	
81	勝田蕉琴	曾根つたひ	大正4年(1915)	紙本・彩色・二曲一双屏風	各177.2×175.6	個人	
82	勝田蕉琴	蛇の鼻御殿 杉戸絵「磯千鳥図」	大正6年(1917)	板・彩色・杉戸(12面のうち4面)	各162.8×106.5	花と歴史の郷 蛇の鼻	
83	勝田蕉琴	夏の林	大正中期	絹本・彩色・六曲一双屏風	各153.0×295.0	個人	
84	今村紫紅	平親王	明治40年(1907)頃	絹本・彩色・軸装	164.9×112.1	横浜美術館(原範行氏・原會津子氏寄贈)	※1
85	今村紫紅	伊達政宗	明治43年(1910)	絹本・彩色・軸装	120.5×71.0	横浜美術館(原範行氏・原會津子氏寄贈)	※2
86	今村紫紅	宇津の山路	明治45年(1912)	絹本・彩色・軸装	126.5×50.4	静岡県立美術館	
87	安田靉彦	十六羅漢	明治44年(1911)頃	絹本・彩色・軸装	111.5×42.2	伊豆市	※1
88	安田靉彦	達磨	明治44年(1911)頃	絹本・彩色・軸装	112.5×42.3	伊豆市	※2

・会期中展示替えを行った。展示期間は下記の通り。

※1:10月24日～11月23日

※2:11月25日～12月13日

郷さくら美術館名作選

受け継がれる日本のこころ

- 会期 平成28年2月20日(土)～4月17日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：郷さくら美術館
後援：茨城新聞社，朝日新聞水戸総局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，北茨城市
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 50日(平成27年度35日間，平成28年度15日間)
- リーフレット A4 4頁
- 入場者数 12,146人(27年度8,538人/28年度3,608人)
- 観覧料 一般620(510)円/高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画60点
- 内容解説

周囲を海に囲まれ，平野と山々が起伏に富んだ地形を成す日本では，人々は古来より，四季折々，様々に表情を変える自然を愛で，慈しんできた。そのような中から生まれた，目に見える自然だけではなく，空気感や気配といった目に見えない自然の移ろいにも思いを馳せる独特な美意識は，自然を主題とした日本画において様々に表現されてきた。画家たちは，春夏秋冬それぞれの季節から感じ取った情趣を絵筆に託し，また，山，河など大自然の営みに人生を象徴させたり，あるいは花や鳥などを画面に取り入れたりしながら，自分自身の胸中に想い描く独自の心象風景を創り上げている。

本展覧会では，日本画専門の私立美術館であり，昭和生まれの画家を中心とした現代日本画を収集している郷さくら美術館のコレクションのなかから自然を主題とした名作60点を選び，〈四季の情景〉，〈生きものたちへのまなざし〉，〈こころの風景〉の3つのテーマに分けて展示し，それぞれの画家の眼と心を通して表現された「受け継がれる日本のこころ」を紹介した。

- 担当 荒木扶佐子(首席学芸員)
- 関連事業 展覧会担当者によるギャラリートーク
日時：3月20日[日]，4月9日[土]
各日午後1時30分～2時30分
- 関連記事
 - ・受け継がれる日本のこころ 茨城県天心記念五浦美術館 2月1日【両毛新聞】
 - ・名作選「日本のこころ」展 2月4日【よみうりタウンニュース】
 - ・受け継がれる日本のこころ 茨城県天心記念五浦美術館 2月15日【日々の新聞】
 - ・四季折々の自然 日本画展 北茨城20日から 県内初公開の59作品も 2月16日【読売新聞】
 - ・日本画59点を県内初公開 五浦美術館、20日から企画展 2月16日【朝日新聞】
 - ・郡山・郷さくら美術館所蔵 日本画の巨匠一堂に 県内初公開59作品北茨城で20日から 2月18日【毎日新聞】
 - ・移ろう自然の趣表す 日本画家展 4月11日まで、天心記念五浦美術館 3月5日【茨城新聞】
 - ・現代日本画壇の名作一堂 県五浦美術館 自然主題の企画展 4月4日【茨城新聞】
- 関連放送
 - ・「スクーピーレポート」 3月2日【茨城放送】
 - ・「いわきおもしろミュージアム」 3月18日【FMいわき】
 - ・「ニュース」 3月30日【NHK水戸放送局】



リーフレット



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作者名	生没年	題名	制作年	寸法(cm)	備考
第1章 四季の情景						
1	那波多目功一	1933-	寂	平成7年(1995)	182.0×216.0	
2	那波多目功一	1933-	昇陽菊図	平成11年(1999)	171.3×364.4	
3	渡辺 信喜	1941-	五色八重散椿	平成15年(2003)	183.0×324.0	
4	林 潤一	1943-	爽暁清韻 I	平成4年(1992)	168.0×185.0	
5	林 潤一	1943-	爽暁清韻 II	平成4年(1992)	168.0×185.0	
6	林 潤一	1943-	紅白梅	平成12年(2000)	168.1×92.5	
7	林 潤一	1943-	肥後椿	平成12年(2000)	168.1×92.5	
8	林 潤一	1943-	野藤花	平成12年(2000)	168.1×92.5	
9	林 潤一	1943-	花菖蒲	平成12年(2000)	168.1×92.5	
10	林 潤一	1943-	紫陽花	平成12年(2000)	168.1×92.5	
11	林 潤一	1943-	南天実	平成12年(2000)	168.1×92.5	
12	林 潤一	1943-	山高神代桜	平成24年(2012)	100.0×120.0	
13	倉島 重友	1944-	杏花林	昭和63年(1988)	61.0×91.0	
14	吉田 多最	1947-	菊花	平成12年(2000)	171.2×352.4	
15	松村 公嗣	1948-	春牡丹	平成8年(1996)	89.8×115.6	
16	水谷 興志	1952-	吉野にて	平成15年(2003)	各165.7×336.0(二面)	
17	手塚 雄二	1953-	惜春	平成7年(1995)	158.0×320.8	
18	手塚 雄二	1953-	望春	平成7年(1995)	158.0×320.4	
19	森田 りえ子	1955-	秋華	平成12年(2000)	168.0×370.0	
20	加藤 恵	1967-	花音—滝桜—	平成25年(2013)	165.0×83.4	第1回桜花賞展 大賞
21	岩永 てるみ	1968-	爛漫	平成25年(2013)	116.7×91.0	第1回桜花賞展
22	田島 周吾	1974-	蒼い桜	平成25年(2013)	130.0×135.0	第2回桜花賞展 大賞
23	松岡 歩	1978-	幽境	平成25年(2013)	112.0×145.6	第1回桜花賞展
24	大久保 智睦	1978-	春煌	平成25年(2013)	145.6×97.2	第2回桜花賞展 奨励賞
第2章 生きものたちへのまなざし						
25	加山 又造	1927-2004	洋猫	昭和45年(1970)	53.5×65.5	
26	小山 硬	1934-	仔羊	平成6年(1994)	91.0×97.2	
27	佐藤 晨	1935-	幻月	平成17年(2005)	112.0×162.0	
28	佐藤 晨	1935-	木漏れ日	平成19年(2007)	116.7×116.7	
29	伊藤 彬	1940-	けいけい	平成3年(1991)	117.0×117.0	
30	竹内 浩一	1941-	戯画 游	平成13年(2001)	180.0×360.0	

No.	作者名	生没年	題名	制作年	寸法(cm)	備考
31	竹内 浩一	1941-	戯画 猿来迎	平成 15 年(2003)	180.0×360.0	
32	竹内 浩一	1941-	戯画 雨中鯉遊図	平成 16 年(2004)	180.0×360.0	
33	竹内 浩一	1941-	戯画 女郎蜘蛛とねこ	平成 17 年(2005)	180.0×360.0	
34	中野 嘉之	1946-	雁	昭和 60 年(1985)	90.9×116.7	
35	松村 公嗣	1948-	野分	平成 8 年(1996)	90.0×116.0	
36	松村 公嗣	1948-	冬さぶ	平成 19 年(2007)	89.5×116.0	
37	松村 公嗣	1948-	夏日	平成 19 年(2007)	90.4×116.0	
38	後藤 順一	1948-	冬陽	平成 6 年(1994)	109.0×109.0	
39	栗原 幸彦	1951-	白韻	昭和 63 年(1988)	129.5×193.0	
40	河股 幸和	1960-	春愁	平成 7 年(1995)	160.5×129.5	
41	平子 真理	1962-	Monkey Race	平成 22 年(2010)	各 156.3×358.8(二面)	
第3章 こころの風景						
42	濱田 昇児	1927-	碧山	平成 3 年(1991)	53.3×73.2	
43	濱田 昇児	1927-	湖畔	平成 4 年(1992)	53.3×73.2	
44	久保 嶺爾	1940-	耀	平成 6 年(1994)	182.0×225.0	
45	渡辺 信喜	1941-	新緑	平成 6 年(1994)	各 168.1×254.3(二面)	
46	平松 礼二	1941-	路・野菊讃	平成 8 年(1996)	各 168.0×355.5(二面)	
47	小泉 智英	1944-	霜月	昭和 50 年(1975)	55.0×145.0	
48	小泉 智英	1944-	季節風	平成 2 年(1990)	66.0×91.5	
49	小泉 智英	1944-	初夏の朝	平成 4 年(1992)	66.0×91.5	
50	土屋 禮一	1946-	夕映	昭和 55 年(1980)	91.0×116.7	
51	曲子 明良	1947-	池	平成 4 年(1992)	115.0×79.0	
52	米谷 清和	1947-	静かなる刻	平成 7 年(1995)	79.5×98.5	
53	吉田 多最	1947-	能登ノ海・雪	平成 13 年(2001)	117.0×146.5	
54	吉田 多最	1947-	能登ノ海・雨	平成 13 年(2001)	117.0×146.5	
55	吉田 多最	1947-	能登ノ海・千鳥	平成 13 年(2001)	117.0×146.5	
56	伊藤 深游木	1954-	かなたへ	平成 16 年(2004)	215.0×170.5	
57	伊藤 深游木	1954-	花風	平成 22 年(2010)	162.0×162.0	
58	浅野 均	1955-	残照の木立	平成 5 年(1993)	147.5×114.3	
59	並木 功	1956-	早春焼岳	平成 4 年(1992)	97.0×130.3	
60	千住 博	1958-	楽園の幕間	平成 4 年(1992)	72.0×90.5	

2 所蔵品展

●概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選び出し、展示室Aで所蔵品展として年2回展示を行った。

●主催 茨城県天心記念五浦美術館

●会期及び入場者数

会期	展覧会名	入場者数
6月5日(金)～7月12日(日)	夏もよう—自然とくらし	7,007
12月18日(金)～平成28年2月14日(日)	花に想いを託して	10,951
	合計	17,958

●観覧料

一般 190(140)円／高大生 110(80)円／小中生 80(50)円

※()内は20名以上の団体料金

※満70歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方は無料

※土曜日は高校生以下無料(冬休みの期間を除く)

●チラシ



チラシA4 (第1回)



チラシA4 (第2回)

●関連記事

- ・「夏もよう」展 茨城県天心記念五浦美術館 5月30日【両毛新聞】
- ・「花」テーマの所蔵品展 18日～県天心記念五浦美術館 7月1日【よみうりタウンニュース】
- ・花に想いを託して 日本画19点を展示 天心記念五浦美術館で 12月12日【常陽リビング】
- ・所蔵品展「花に想いを託して」 天心記念五浦美術館 1月22日【とちぎ朝日】
- ・花に込められた思い 県天心記念五浦美術館 来月14日まで作品展 1月28日【茨城新聞】

●関連放送

- ・「正午のニュース」 6月14日【NHK水戸放送】
- ・「はらぺこきつず」 12月26日【FMひたち】

夏もよう—自然とくらし 平成27年6月5日(金)～7月12日(日)

春夏秋冬と変化に富む日本の四季は、多くの絵画作品に表現されてきた。なかでも夏を主題とした作品では、水辺や木陰で活動する様々な生き物や青々と葉を茂らせる木々、涼を求めて夕涼みや花火に興じる人々など、一年で最も暑い季節の自然の有り様と人々のくらしの情景が詩情豊かに表現されている。

本展では西村昭二郎、小林恒岳らの描く水辺の鳥たちをはじめ、前田青邨、安田鞞彦の描く鶴飼や夕涼みの情景のほか、鐺木清方、小林古径らの描く女性の装いなど、夏にちなんだ自然や風物を描いた日本画を紹介した。また、岩田藤七、岩田久利の涼感あふれるガラス工芸もあわせて展示した。

●担当 永宮勤士(学芸員)

●出品目録

〈 日本画 〉

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	小川 芋銭	1868-1938	糸瓜と狗子	明治 43 年頃	紙本・淡彩・軸装	129.0×40.0	※2,3 と三幅対
2	小川 芋銭	1868-1938	雷神	明治 43 年頃	紙本・淡彩・軸装	129.0×40.0	※1,3 と三幅対
3	小川 芋銭	1868-1938	長茄子と雛	明治 43 年頃	紙本・淡彩・軸装	129.0×40.0	※1,2 と三幅対
4	小川 芋銭	1868-1938	水村童子	昭和 8 年頃	絹本・淡彩・軸装	132.0×41.7	
5	小川 芋銭	1868-1938	涼気流	昭和 12 年	紙本・淡彩・軸装	45.8×65.3	
6	小川 芋銭	1868-1938	早夏人馬之野	昭和 12 年頃	紙本・淡彩・軸装	44.2×59.0	
7	鏑木 清方	1878-1972	夏の女客	昭和8年	絹本・彩色・軸装	129.7×42.3	
8	鏑木 清方	1878-1972	汐路のゆきかい	昭和 34 年	絹本・彩色・額装	57.5×62.6	
9	小林 古径	1883-1957	壺	昭和 25 年	絹本・彩色・額装	121.2×84.9	
10	安田 靱彦	1884-1978	鴨川夜情	昭和7年	紙本・墨画彩色・額装	87.5×119.7	
11	前田 青邨	1885-1977	鶴飼	昭和8年頃	紙本・墨画彩色・額装	51.0×155.0	
12	川崎 小虎	1886-1977	春夏草花絵巻	昭和 20-25 年頃	紙本・彩色・卷子	39.3×736.5	川崎春彦氏寄贈
13	小林 巢居人	1897-1978	田園の四季(夏)	大正 12 年	紙本・淡彩・卷子	22.0×461.0	小林登氏寄贈
14	小林 巢居人	1897-1978	岩	昭和 15 年	紙本・彩色・屏風二曲三隻	各 177.4×207.4	
15	小林 巢居人	1897-1978	水辺の若草	昭和 43 年	紙本・彩色・額装	121.2×151.6	小林登氏寄贈
16	浦田 正夫	1910-1997	沼	昭和 57 年	紙本・彩色・額装	174.0×186.0	作者寄贈
17	森田 曠平	1916-1994	八丈のめならべ達	昭和 34 年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	175.9×305.7	森田貞子氏寄贈
18	佐藤 多持	1919-2004	水芭蕉曼陀羅白・103	平成元年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	163.0×364.0	作者寄贈
19	西村 昭二郎	1927-1999	夕風・夏柳	昭和 52,53 年	紙本・彩色・屏風四曲一双	各 167.0×227.0	西村淑子氏寄贈
20	小林 恒岳	1932-	霧流れる	昭和 55 年	紙本・彩色・額装(2面)	各 180.0×360.0	作者寄贈
21	小谷津 雅美	1933-2011	夏悠悠	平成 14 年	紙本・彩色・額装	152.4×220.2	作者寄贈
22	梅原 幸雄	1950-	線香花火	平成5年	紙本・彩色・額装	209.0×165.0	寄託
〈 工芸 〉							
23	岩田 藤七	1893-1980	金彩三筋茶碗	昭和 48 年	ガラス	9.5×13.5×13.5	
24	岩田 久利	1925-1994	流影文茶碗	昭和 51 年	ガラス	7.0×17.0×17.0	
25	岩田 久利	1925-1994	瑠璃金彩茶碗	昭和 53 年	ガラス	7.5×15.5×15.5	

花に想いを託して 平成 27 年 12 月 18 日 (金) ~平成 28 年 2 月 14 日 (日)

豊かな自然に恵まれた日本では、人々の心の中に四季の移ろいを慈しむ繊細な感性や美意識が育まれてきた。そして、四季折々に咲く花は、人々の生活を豊かに彩る身近な存在として親しまれてきた。中でも、富貴や繁栄を表す牡丹、長寿を意味する菊、春の訪れを告げる梅など、吉祥の花々は、古くから絵画にも多く描かれている。それらの作品には、花の美しさと儚さなど生命の輝きに共感する画家たちの想いが託されている。また、花にまつわる歴史画や物語絵では、花がそのストーリーと

結びついて人物の性格や場面を象徴する役割も担っている。

本展では、近現代の画家たちの花に対する想いを、菱田春草、木村武山、永田春水、森田曠平、那波多目功一らの作品によって紹介した。

●担当 富永京子(首席学芸主事)

●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	奥原 晴湖	1837-1913	富貴飛燕 芙蓉翡翠	明治28年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各131.0×42.7	
2	松本 楓湖	1840-1923	海上朝陽 松竹梅	大正4年	絹本・彩色・軸装(三幅対)	各116.7×35.0	
3	小川 芋銭	1868-1938	安計呂の夢	大正14年頃	絹本・淡彩・軸装	89.0×34.7	
4	菱田 春草	1874-1911	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.8	
5	木村 武山	1876-1942	熊野	明治35年	絹本・彩色・軸装	144.0×240.0	
6	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「夏草図」	大正7年頃	杉戸・彩色(4面)	各198.5×148.5	寄託
7	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「日の出」	大正7年頃	杉戸・彩色(2面)	各198.5×148.5	寄託
8	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「八つ手・篠竹図」	大正7年頃	杉戸・彩色(2面)	各198.5×148.5	寄託
9	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「向日葵図」	大正7年頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0	寄託
10	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「秋草図(すすき・もみじ)」	大正7年頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0	寄託
11	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「白菊図」	大正7年頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0	寄託
12	木村 武山	1876-1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「秋草図(白菊・赤菊)」	大正7年頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0	寄託
13	安田 鞞彦	1884-1978	羅浮仙	昭和10年頃	絹本・彩色・軸装	129.5×50.8	
14	堅山 南風	1887-1980	雨後	昭和13年	絹本・墨画淡彩・額装	118.0×133.0	堅山壽子氏寄贈
15	永田 春水	1889-1970	春暉曉艶	大正15年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各210.0×165.0	
16	小松 均	1902-1989	牡丹	昭和21年	紙本・彩色・額装	282.5×214.5	
17	森田 曠平	1916-1994	女神春秋「花鎮め」	昭和57年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	173.7×364.0	寄託
18	森田 曠平	1916-1994	女神春秋「龍田姫」	昭和58年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	173.8×364.9	寄託
19	小谷津 雅美	1933-2011	終宴	平成10年	紙本・彩色・額装	225.0×180.0	作者寄贈
20	那波多目功一	1933-	惜春	平成19年	紙本・彩色・額装	217.0×172.0	寄託
21	齋藤 満栄	1948-	秋晨	平成12年	紙本・彩色・額装	172.0×217.0	作者寄贈
22	西田 俊英	1953-	華孔雀	平成15年	紙本・彩色・額装	182.0×364.0	寄託
23	松本 祐子	1957-	月の雫	平成7年	紙本・彩色・額装	178.0×227.0	個人蔵

3 岡倉天心記念室

●概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示を行った。

●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第1回		平成27年4月18日(土)～6月21日(日)					
1	横山 大観	1868-1958	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50	寄託
2	菱田 春草	1874-1911	林和靖	明治41年	絹本・彩色・軸装	116×50.3	
3	下村 観山	1873-1930	高土観瀑	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142.2×55.3	
4	木村 武山	1876-1942	不動明王(模写)	昭和10年頃	紙本・彩色・軸装	134.2×74.1	寄託
■第2回		平成27年6月23日(火)～9月2日(水)					
1	横山 大観	1868-1958	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50	寄託
2	横山 大観	1868-1958	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123×51	
3	下村 観山	1873-1930	納涼図	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	84×50	
4	木村 武山	1876-1942	小楠公	明治36年頃	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8	
5	木村 武山	1876-1942	弁財天	大正15年	絹本・彩色・軸装	181.1×85	
■第3回		平成27年9月3日(木)～10月18日(日)					
1	岡倉 天心	1863-1913	日の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	63.3×46.7	寄託
2	岡倉 天心	1863-1913	月(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	48.5×35.8	寄託
3	岡倉 天心	1863-1913	ロバと人物	明治37年	絹本・彩色・額装	49×86.3	寄託
4	岡倉 天心	1863-1913	海辺の松	明治37年	絹本・彩色・額装	49.4×87.9	寄託
5	岡倉 天心	1863-1913	竹の図	明治37年	絹本・彩色・額装	91.6×24	寄託
6	岡倉 天心	1863-1913	山水の図	明治37年	絹本・彩色・額装	80.7×27.4	寄託
7	岡倉 天心	1863-1913	海辺の松(下図)	明治37年	紙本・彩色・額装	21×27.8	寄託
■第4回		平成27年10月20日(火)～12月18日(金)					
1	横山 大観	1868-1958	飛泉	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.2	No.3と対幅
2	横山 大観	1868-1958	月満山	昭和12年	絹本・墨画・軸装	65.4×99.3	
3	菱田 春草	1874-1911	秋溪	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.3	No.1と対幅
4	菱田 春草	1874-1911	普賢菩薩	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	
5	木村 武山	1876-1942	七草	大正6年頃	絹本・彩色・軸装	142×50	
■第5回		平成27年12月19日(土)～平成28年2月14日(日)					
1	横山 大観	1868-1958	鹿島神宮	昭和3年	絹本・墨画彩色・軸装	149×57	No.2と対幅
2	横山 大観	1868-1958	筑波山	昭和3年	絹本・墨画彩色・軸装	149×57	No.1と対幅
3	横山 大観	1868-1958	海上雲遠	昭和11年	絹本・彩色・軸装	130×42	
4	下村 観山	1873-1930	日の出・雪梅	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各108.5×41.0	
5	木村 武山	1876-1942	日月秋冬	大正15年～昭和6年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142×50	檜座一臣氏寄贈
■第6回		平成28年2月16日(火)～4月15日(金)					
1	横山 大観	1868-1958	峠の夕	明治36年	絹本・彩色・額装	40.5×65.5	
2	横山 大観	1868-1958	葉桜	大正初期	絹本・彩色・額装	129.3×50.7	
3	菱田 春草	1874-1911	春の漁	明治42年頃	絹本・彩色・額装	108.5×41.0	寄託
4	木村 武山	1876-1942	貴紳観桜図	明治33～34年頃	絹本・彩色・軸装	119.8×49.5	
5	木村 武山	1876-1942	孔雀王(下図)	明治37年	紙本・墨画彩色・軸装	172×94.0	寄託

(2) 資料テーマ展示

所蔵している岡倉天心関係資料に関して調査・研究した内容を、テーマを設けて解説パネル等により紹介した。

- テーマ名** 天心の「浮世絵概説」
- 会 期** 平成27年2月24日(火)～9月1日(火)
- 内容解説** 明治38年(1905)に岡倉天心によって執筆された草稿「浮世絵概説」は、日本人が初めて浮世絵を美術史的に体系化しようとしたもので、浮世絵の定義から始まり、16～19世紀の浮世絵史を略述している。当該資料の展示の他、浮世絵の時代区分パネルや解説パネルを通して天心の浮世絵史観を概説した。
- 展示資料** 岡倉天心「浮世絵概説(草稿)」明治38年 当館蔵
- 担 当** 永宮勤士(学芸員)
原稿協力：稲葉睦子(茨城県近代美術館主任学芸員)

- テーマ名** 天心の弟岡倉由三郎 I 英語学者としての活動
- 会 期** 平成27年9月2日(水)～平成28年3月31日(木)
- 内容解説** 岡倉由三郎は天心の実弟であり、最も信頼できる身内の一人として公私にわたって兄を支え続けた人物である。一方で、由三郎は明治初期から昭和戦前期にかけて日本における英語教育の第一人者として活躍し、さらには海外における講演活動や英文著書の発行を通して日本文化を欧米に紹介するなど、多彩な業績を残している。天心の弟岡倉由三郎を紹介する2回にわたる展示の第1回目として、由三郎関わった英語関連の諸資料を展示し、英語学者としての由三郎の業績の一端を紹介した。
- 展示資料** 『夏季英語講座資料』(日本放送協会関東支部)昭和2年 当館蔵
岡倉由三郎「英語講座用メモ [Jack the Giant-Killer]」昭和2年 当館蔵
『英語講座読本(初等科)第二』(日本放送協会関東支部)大正15年 当館蔵
『ラヂオ・テキスト 基礎英語(春期)』[初版](日本放送出版協会) 昭和10年 当館蔵
岡倉由三郎「研究社新英和大辞典構想メモ」 当館蔵
岡倉由三郎編『新英和大辞典』[改訂増補第7版](研究社)昭和27年 当館蔵
- 担 当** 永宮勤士(学芸員)